



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.37

2021年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート通常総会 会長挨拶(要旨)

吉田 剛



KTSはこれまで、先輩方の活躍で国や県、北九州市をはじめ関係機関のご支援をいただき、様々な事業を進めて参りましたが、イベント開催の制約や中止など事業活動に大きな影響を受け、厳しい運営状態が続いております。

昨年を振り返りますと、事業の柱である環境省/エコアクション21(EA21)地域事務局は合併後、中核事務局「環境未来」として本格的に動き出しましたが、コロナの制約もあり330社の登録事業者が微減し、中期的に目指す500社登録に向けては厳しい滑り出しとなり法人挙げてのバックアップが必要と感じているところです。

北九州産業人材育成フォーラム様からの「地元企業へのインターンシップコーディネート事業」はコロナ禍でも実施され、参加企業は減少したものの地道な成果を上げております。北九州観光コンベンション協会の「出展企業と地元企業とのビジネスマッチング事業」はコロナ禍で、イノベーション展は中止、中小企業テクノフェアはオンライン開催となりました。初めてのオンライン開催への対応も未熟な点が多あり、大変苦労しました。また、法人内部の技術研鑽としての勉強会や情報交換会もオンライン開催で継続しております。広報誌は例年通り、年2回の発行を行いました。これらの活動は横連携が意識され相互の協力体制が少しずつ出てきております。

これからも組織としての力を結集すべく相互理解と協力関係構築を進めて参ります。コロナ禍で対面の活動は出来ませんが、リモート会議を利用し理事と会員の結びつき強化する活動も進めております。なお、会員数の増強にも力を入れましたが、会員の高齢化で退会者も多く昨年から3名減の71名になっております。さて、本年度も昨年に増して、次の4テーマを掲げ活動を活性化します。

1. 個々の活動を相互連携しKTS全体としての成果を最大化するように活性化
昨年に引き続き様々な活動の相互連携を図りながら企業様、ご支援いただいている関係先への支援内容の充実を図ります。併せて、コロナ禍を乗り越える方策を充実させます。
2. 事業を支える会員の入会を昨年以上に促進し企業支援体制強化を進める。
会員の力を高める学習会や相互連絡会を充実し会員の力を最大限引出します。
3. 広報誌やHPにより活動状況を広く発信し、支援活動の新テーマ創出につなげる。
4. EA21は中核地域事務局として一層の体質強化を行う。

令和3年の国内経済はワクチン接種が進み正常な状態へ回帰する期待があり、オリンピックも予定され活性化するような期待もあります。また、経済活動の制限が残っていますが、KTSはこれからもお困りごとに役立つNPO法人として精進を続けて参ります。本総会では、活発なご議論をいただき、ご出席いただいた皆様に意義ある場となりますよう宜しくお願い申し上げます。

(2021年6月9日通常総会挨拶冒頭部は掲載割愛)

Topics 1. 2021年度 北九州テクノサポート通常総会開催

2021年度総会(第19回通常総会)が6月9日(水)に開催された。本総会はコロナ対応として御来賓参加等を仰がず正会員・賛助会員及び協賛会員のみのオンライン会議へのリモート参加形式で実施された。開始に先立ち、事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(吉田会長)により議事が進められ、会長挨拶並びに次の3議案(含む、収支決算及びその監査報告並びに収支予算案)の報告がなされ、正会員による採決(予めメールでの議決権行使を含む。)が行われ、3議案とも了承・可決された。

なお、総会に引き続き「特別講演」は会員に加え各界からのご参加を得て同じくオンラインで実施された。

◇ 2020年度事業報告(事業総括) ◇

2020年早々に始まった新型コロナウイルスの感染爆発により、国内では4月に緊急事態宣言が発出され、未曾有の社会・経済活動の制限を強いられただけでなく、国境をまたいだ企業のサプライチェーン分断によるグローバル化の負の面が表出した。中でも旅行・観光・サービス業は需要の消滅や低迷により大きな打撃を受けた。一般企業においても仕事の停滞やプロジェクト中止など深刻な影響が出た。経済活動が滞り、国や地方自治体は、企業の倒産や廃業を防ぐため、資金繰り支援や雇用調整助成金の拡充、給付金の執行に務めたが、我が国のデジタル化の遅れが支援や給付の遅延を引き起こした。

当法人の2020年度の活動を振り返ると、新型コロナの下でのニューノーマル(新常態)に対応するためにIT活用支援グループが、オンライン会議システムの導入とクラウドによる情報共有環境整備、自宅からでも会員宛てメールや理事・監事宛てメールを送信できる機能の導入などを進めテレワーク環境を整備した。

事業活動としては、EA21は地域事務局環境未来としてスタートし、着実な活動を進めている。他の活動はコロナ禍で活動が種々の制約を受けた。インターンシップ受入企業の登録については、感染症対策に留意しながら受入可能な企業に登録をしていたが、何となく継続できたが、参加登録企業数は2/3に減少した。展示会ビジネスマッチング事業は、6月の製造技術イノベーション展が中止となり、10月の中小企業テクノフェアは、オンライン開催となった結果、参加企業数とKTSコーディネーターも大幅に減少し活動は低迷した。

こうした変化の中でも、従来グループごとに活動を行ってきた集団が、グループ間の横連携を強化する動きなども見られ、KTS全体としての連携を模索する動きが生まれている。その他、北九州市が推進するSDGsについて勉強会や会員相互情報交換会等で相互理解を深めながら、地域産業の振興・活力あるまちづくりへの貢献を目指して活動を展開した。

➡(主な活動及び各支援Gr.活動報告は2ページ以降に掲載)

◇ 2021年度事業計画(基本方針) ◇

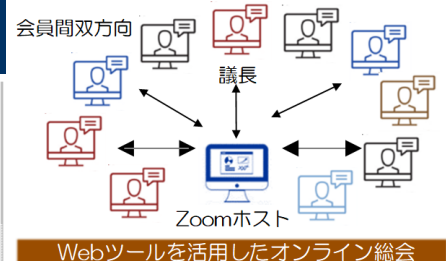
新型コロナウイルスとの闘いが2年目を迎えて、企業活動は大きく揺さぶられ、規模や業種間の格差が浮き彫りになる「K字型」回復基調が鮮明になっている。危機への対策としてワクチン接種を急いでいるが、国内外の経済へ与える影響は大きく、行動の自粛は経済活動に大きな制約を課し、その影響は世界金融危機の経済停滞を上回るほどの悪化をもたらした。先行してワクチン接種の進んだ国では少しずつ明るい見通しも出てきたが、国内では第4波が広がっており、3度目の緊急事態宣言も発せられ、オリンピックを間近に控え聖火リレーも進んでいる中で、変異ウイルスの広がりは日常生活に様々な制約を課している状況である。

経済は、当面は以前の水準に届かず「水面下」の低空飛行が続く公算が大きい。医療体制の整備などでウイルスへの耐性を高めつつ、活力を取り戻す工夫が要る。新常態への適応力をいち早く確立した国や企業こそが、ポストコロナ世界のけん引役になると考えられる。

昨年に中止やオンライン開催となった展示会であるが、時期を分けて行われていた製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアが6月末日から7月2日にかけて同時開催されることになり準備を進めている。インターンシップのコーディネート事業も厳しい状況ながら、実施に向けて企業への勧誘を進めている。エコアクション21地域事務局は昨年の合併で「環境未来」として再出発し、会合が制約される中、オンライン会議等を活用しながら運営を行っている。

本年も、この3つの事業を中心に活動を進める計画である。併せて、支援を必要とする企業(特にものづくり中小企業)の課題解決に協力して成長を応援し、地域の一層の発展に貢献することを目指す。現下の厳しい社会経済情勢に対応すべく会員の叡智を結集して企業の技術問題や生産活動の合理化・エコな生産に関わる支援などの実務を進めて行きたい。さらに、その豊富な経験・知識・人脈を持った人材を仲間と呼び込み、叡智を活かし地域の活動組織と連携や協業を進め、つなぎ役・実働部隊として地域産業の下支えをできるような活動を促進したい。

➡(実施計画は6ページに記載)



◇ 役員改選 ◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、理事候補12名(再任9名、新任3名、計12名)、監事候補2名(再任)並びに退任理事6名が紹介され、了承・可決された。

<<役員紹介>>

2021年7月度理事会(7/8開催)において会長以下三役、並びに各支援グループ(Gr.)長が定款に則り、選出された。

会長	吉田 剛
副会長	影山 隆雄、古谷 長蔵
事務局長	徳永 昌哉
理事(注)	荒巻 忠史(*), 関屋 建三(*), 西 哲郎 林 慶三郎、藤原 利久、正木 秀尚(*) 松本 昭喜、渡邊 朝子

(注)・三役理事は理事欄から省略
・理事(*)は新任、その他は再任

監事 石川 浩、重藤 将美

各支援Gr.長

・技術経営ものづくり支援Gr.	吉田 剛
・産学官連携人材育成支援Gr.	影山 隆雄
・環境・省エネ支援Gr.	吉田 剛
・ISO-EA21支援Gr.	古谷 長蔵
・IT活用支援Gr.	影山 隆雄
・販路開拓ビジネス支援Gr.	影山 隆雄
・広報・デザイン支援Gr.	林 慶三郎

エコアクション21地域事務局
環境未来責任者

西 哲郎

Topics 2. 福岡県 商工部 中小企業技術振興課からKTSへの期待

福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 吉海 和正



貴法人におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいております。

吉田会長をはじめ、会員の皆様の熱心な活動に心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済が急激かつ大きく変化中、ものづくり企業においても、デジタル化への取り組みが必要となっています。

県では、ものづくり中小企業のデジタル化を支援するため、本年2月、工業技術センター機械電子研究所に「デジタル化実証支援ラボ」を設置しました。設計・開発・製造技術のデジタル化指導のための機器を整備し、これらを活用した技術支援や中小企業との共同研究を行ってまいります。

また、デジタル化を推進するための人材育成も急務となっています。今年度から、企業の技術者の方に支援ラボの各種機器を活用していただくためのセミナーや、企業の経営者、生産部門の責任者、現場技術者の方を対象に、デジタル化に関する講座を開催してまいります。

皆様におかれましては、是非御活用いただきますようお願いいたします。

県内中小企業を取り巻く現状は、依然として厳しい状況にありますが、コロナ禍というピンチをチャンスに変える企業の取組みも見られます。

県としましては、引き続き、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打開できる多様な活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

終わりに、貴法人のさらなる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。

2020年度事業報告

別表 2020年度の主な活動

NPO法人北九州テクノサポートのご関係先との連携の下、7つの支援グループ(Gr.)の個別又はGr.間の協働並びにEA21地域事務局活動を行った。

活動項目	関係先
北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
中小企業テクノフェアin九州2020 販路開拓事業	(公財) 北九州観光コンベンション協会
九州工業大学 産学連携 アソシエイト派遣	九州工業大学 イノベーション推進機構
製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、FAIS、大学・高専、 賛助会員、協賛会員
「第4次産業革命」勉強会 2回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市 関係者他
「SDGs勉強会」3回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市 関係者他
エコアクション21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 中央事務局
会員相互情報交換会 オンライン 1回	NPO-KTS会員、地元企業
新型コロナウイルス感染防止のための テレワークの環境構築と推進	NPO-KTS会員、関係先

2020年度各支援グループ活動実績

◇ 技術経営ものづくり支援Gr. ◇

1. 技術支援

1) 九工大と連携した企業技術課題への対応

- ・冷凍冷蔵装置の商品開発を支援した。
- ・セラビッドを使った介護施設の活動支援中。

2) KTS内の会員連携による技術支援

- ・よろず相談票を設け、会員が連携して5社の技術支援を行った。成果の中から、2社が賛助会員に加入した。

3) KTS会員とコラボした営業・技術サポート

- ・金型製作の営業支援と機械加工の発注先を紹介した。・消毒ロボットの病院への売込みサポートを実施した。

2. 人材確保のための支援

- ・インターンシップを勧誘した企業から人材を募集しているとの相談があり、会員を紹介した結果、顧問に採用された。

3. 企業PR・補助金等活用した技術力向上への支援

- ・コロナ禍で展示会が開催されず、PRの場が制限された。
- ・KTSの各活動グループが関わっている企業を見える化し横連携に繋げるため、企業データベースを整備した。

4. 官公庁からの委託事業の開拓

- ・北九州市「エコプレミアム」商品の審査委員会において、KTSのEA21活動を紹介した。
- ・異業種交流会である「プレミア会」小倉会・八幡会において、KTSの活動をPRした。

◇ 産学官連携人材育成支援Gr. ◇

1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

1) 研修型(短期)インターンシップに関する事業

地域のものづくり企業197社に対して訪問する計画であったが、新型コロナウイルス禍ため電話とメールによる勧誘となり、登録目標120社に対して、62社に留まった。

2) 実践型(長期)インターンシップに関する事業

新型コロナウイルス禍のため、登録目標30社に対して、8社に留まった。

3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業

新型コロナウイルス禍のため、20社紹介する計画に対して、16社に留まった。

2. 九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業

九工大からの要請によりKTS会員1名をアソシエイトとして派遣している。

3. サポイン事業評価業務

2020年度の九州経済産業局サポイン事業の中間評価と最終評価業務は、1名の会員が急病のため、一部を代わりの会員に交代した。

4. 「SDGs勉強会」の開催

会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を6月、8月、10月と3回オンライン開催した。

(次ページに続く)

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR—募集中>

NPO-KTS通信Vol.37 広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。



大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<https://www.taiko-ref.com/>

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



本社における頸椎装具等の医療機器適用



義肢・装具・車いす・福祉用具／リハビリ機器

株式会社 有蘭製作所

代表取締役 有蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>



NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃より技術・知識・経験を活かした地域企業への技術支援はもとより、企業間のビジネスマッチングによる販路開拓支援など、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、昨年からは、何をおいても新型コロナウイルスに立ち向かう日々が続いています。本市産業経済局では、令和3年度に約1,143億円の緊急経済対策予算を組み、市内企業の皆様に向けて、事業継続、雇用の維持、飲食や観光などの消費喚起、DXの推進など経済対策支援を進めてまいります。

感染拡大の影響により、会員の皆様におかれましても大変厳しい状況が続いておられることと思います。皆様にもご負担をおかけいたしますが、この難

局を乗り越え、感染拡大防止と社会経済活動を両立するべく、全市一丸となつて感染の抑え込みに取り組むとともに、産業経済局として、引き続き、市内企業の皆様に寄り添った経済対策支援を推し進めてまいります。

また、このコロナ禍においても、企業や自治体の持続可能性を考えていくうえで、「SDGs」の理念は進むべき方向性を示していると思います。本市では、SDGsを推進し、「日本一住みよいまち」の実現を目指して、様々な取組を進めてまいりました。

withコロナ時代における持続可能なまちづくりに向けて、本市が「経済」「社会」「環境」のそれぞれの分野でSDGsのトップランナーを目指して、その役割を果たしていくために、引き続き貴法人のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、北九州テクノサポートの今後のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。

2020年度各支援グループ活動実績

◇ 環境・省エネ支援Gr. ◇

1. 環境助成

伐採竹による「竹粉」製造品を久留米市のバラ園やベトナム研修生寮地の野菜栽培にテストを開始した。中間市の野菜栽培地に10Kgを本格投与し、収穫増の成果が確認された。

2. 省エネ助成

- ・未利用エネルギー利用は、関係先と連携・協賛中。
- ・省エネ補助金制度の活用を計画した地元企業2社の支援を行ったが、「費用対効果」の点で実現に至らなかった。

◇ ISO・EA21 支援Gr. ◇

1. 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化

例年3～4回実施していたGr.研修会は、新型コロナ禍により実施を見送った。

2. EA21認証取得事業者数の拡大

新型コロナ禍により、グループとしての組織的な拡大活動は実施を見送った。

3. ISO認証維持・新規取得支援

新型コロナ禍により、グループとしての組織的な拡大活動は実施を見送った。

4. グループ会員の相互研鑽（審査・コンサルティング技術の向上）

新型コロナ禍により実施を見送り、各グループ員の自己啓発に委ねた。

5. 「エコアクション21だより」の発行

2020年度はVol.15号を発行し、KTS通信本誌の互版として活用した。

◇ IT活用支援Gr. ◇

1. NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立

KTS会員の中からホームページ制作の専門家と広報・デザイン支援Gr.の協力を得てホームページの維持管理を実施した。

2. 中小企業のIT活用支援

生産管理統合システムに関して相談を受けた中小企業に市内大手IT企業を紹介した。

3. 「第4次産業革命」勉強会の開催

7月と9月の2回勉強会をオンライン開催した。

4. テレワークのIT環境構築

新型コロナ禍のもと、在宅勤務を可能にするITシステムを構築した。

1) TechSoupJapanへの公益・非営利団体登録とITツールの寄贈・割引申請手続き

新型コロナウイルス対応のためテレワーク環境を構築するに当たり、非営利団体向けITツールの寄贈・割引制度を利用しMicrosoftの寄贈、Zoomと会計王の割引を合わせた節減金額は、年間約18万円である。

2) SkypeやZoom、Microsoft 365 Business(MS365Biz)導入によるテレワーク環境構築

- ・3月にSkypeを導入しオンライン総会に適用した。
- ・7月に有料版Zoomを導入し、EA21審査人や登録企業とのオンライン会議を可能にする環境を構築した。
- ・今年1月にMS365Bizを導入してTeamsやクラウド、法人メールアドレスの環境を構築した。

3) WebARENAのメール転送やメールリスト機能導入

テレワーク環境の自宅からでも会員宛てBCCメールや理事・監事宛て送信を可能にする環境を構築した。

4) 電子印鑑の導入

法人印と会長印の電子印鑑化を図り、押印のため事務所に出る回数を削減した。

以上のテレワーク環境構築によって、理事の事務所当番勤務廃止や理事会を始めとする会議のオンライン化が可能になり、業務効率化とCO₂削減支援を実現できた。

◇ 販路開拓ビジネス支援Gr. ◇

1. 西日本製造技術イノベーション2020展示会中小企業対象のビジネスマッチング(BM)支援事業

6月の開催に向けて準備を進めていたが、今回はコロナ禍で中止となった。

2. 中小企業テクノフェアin九州2020展示会中小企業対象のビジネスマッチング(BM)支援事業

今回の支援は12年目で、展示会は10月に開催されることになっていたが、コロナ禍で初めてのオンライン開催となり、展示企業も25社と激減し、実施の難しさを実感した。

3. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

本年は、コロナ禍で活動が停滞し、思うような活動が出来なかった。

◇ 広報・デザイン支援Gr. ◇

1. 広報誌(KTS通信)の発行

- 1) Vol.35(2020年夏号)
第18回通常総会特集号を2020年7月10日に2,000部発行した。
- 2) Vol.36(2021年冬号)
新年特集号を2021年1月10日に2,000部発行した。

2. 賛助・協賛会員、関連企業の広報支援

- 1) 賛助会員12企業・団体、協賛会員8企業の広告掲載やKTS通信の事業所めぐり記事掲載を通じて、広報支援を行った。
- 2) 一般企業の広告制作等の受注成果は得られなかった。

(次ページに続く)

北部九州・山口地域の企業紹介 地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.37 広告3-4



エコアクション21
認証・登録番号
0008225



限りある資源を未来に 地球環境に貢献
株式会社コーセイジャパン

当社は照明の省エネ診断を行い、エネルギー削減や照度改善をご提案しております。

従来照明は水俣条約や省エネ法により製造終了が続いております。

現場調査、ご提案から施工、保守まで行っていますので、ご相談お待ちしております。

〒800-0315 福岡県京都郡苅田町港町8-11

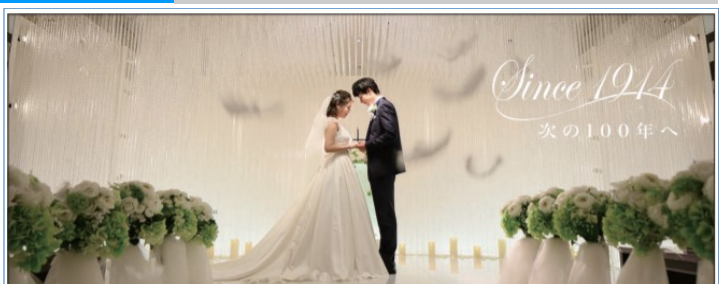
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

<http://www.kosei-japan.com>

水銀使用製品の製造終了！
(2020年12月より)



高効率LED照明



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

(公財)北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央



特定非営利活動法人北九州テクノサポートの皆様におかれましては、設立以来、地域企業の支援や産学連携のコーディネート活動などに幅広く活躍され、北九州地域の産業振興に大いに貢献されておられることに心より敬意を表します。

また、平素より私ども、公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年来の新型コロナウイルス感染症のまん延により、福岡県にも緊急事態宣言が発出され、みなさまの企業活動においても、停滞や縮小を余儀なくされたこともあったのではないかと推察いたします。

この困難な状況がいつまで続くのかはわかりませんが、皆様も事業の再構築や改善による生産性の向上、事業継続力の強化など、企業活動のニューノーマルを模索されていらっしゃると思います。

幸いにも、このような新たな企業活動を支援する国や自治体の補助金などのメニューも多くあり、今はこれらを活用しながら、ポストコロナに向けた体制を整備する絶好の機会でもあるといえます。

FAISは本年で設立20周年を迎えますが、これまで北九州市学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界の橋渡し役として、また中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動してきました。

先に述べましたように、ポストコロナの時代の北九州市の産業基盤の更なる強化や新たな産業の創出を通じたニューノーマルの構築のための支援に、私どもは強い使命感を持って、全力を傾けてまいりたいと考えています。北九州テクノサポートの皆様には、豊富な経験や技術、専門知識を生かして、私どもの活動に一層のお力添えをお願いいたします。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様の今後のさらなるご活躍と、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

2020年度各支援グループ活動実績

3. 継続的なKTS認知活動の展開 (前ページより続く)

正会員によるKTS通信やパンフレット類の関係先へのお届けや展示会での配布等を通じて、KTS活動の認知度向上活動を実施した。

4. ホームページの更新(KTS事務局、IT活用支援Gr.との協働)

1) KTS通信本誌(Vol.35, Vol.36)の新規登録 2) KTS通信掲載広告の登録更新及びリンク情報提供 3) 正会員技術登録リストの再整備及び更新情報提供

5. 会員への情報提供サービス(KTS事務局との協働)

正会員、会員企業へのお役立ち外部情報を提供し、参考にしていただいた。

KTS会員情報交換会

会員相互連絡会推進チーム

本会合は拘束性のない情報交換の場としてH30年2月に発足し、No.8会合を2020.8.22にオンライン開催しました。コロナ禍中なので交換会後のお楽しみ懇親等はできなかったが、今後もオンライン会合も含め、正会員はもとより、会員企業様やゲストスピーカーを交えた充実した会合を目指します。KTS会員間連携強化や自己PR、又、ビジネス開拓の場を更に増やして提供して参ります。

会員各位の積極的な参加を、また提案(事業化、運営等)をお待ち致します!!

エコアクション21地域事務局環境未来 2020年度活動実績

1. エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施した。

2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム開催

認証登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催した。

3. 認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催した。

4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催した。



集合講座実施状況

5. エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

九州・山口・沖縄地域のEA21審査員を対象にZoomにて「力量向上研修会」を開催した。

6. 10年継続認証・登録事業者に感謝状授与

10年間エコアクション21に取り組んでこられた30事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与した。

7. 北九州市長感謝状授与と制度の対象事業者の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、上申。
((有)新門司建設、(有)末広工業及び丸和設計(株)の3社が感謝状を授与された。)



感謝状授与式

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.37 広告5-8

「元気で住みやすいまちづくり」

KITAKYUSHU PROSPERITY ENRICHMENT COUNCIL

北九州活性化協議会

SEARCH

展示会に出る。新しいビジネスに出会う。

西日本総合展示場・新館

西日本製造技術イノベーション

中小企業テクノフェア九州

西日本製造技術 検索

中小企業テクノ 検索

がっちりガードして、耐風力・防犯力・操作性・耐久力が大幅アップ

中柱固定装置ザ・ガードマン 新発売!

当社開発/特許取得製品

安全・安心、シャッター設置・修理

有限会社 やまもと

〒805-0050 北九州市八幡東区春の町3丁目1-9
TEL 093-681-6360 FAX 093-681-6818
フリーダイヤル 0120-117-914(市内)
URL <http://www.s-yamamoto.jp>

新製品 多言語翻訳放送装置

手軽にその場で翻訳! すぐ放送!

QuaVoice

クアボイス

◆4か国語でその場の状況を即時に伝えられます。
◆訪日外国人へ安全・安心サービスを提供!

<http://kanno.co.jp>

株式会社 カンノ製作所

〒802-0022 北九州市小倉北区上富野1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470 JR (091)3111

おかげさまでまもなく創業90年

演題:「シャボン玉石けん株式会社におけるSDGsの取組み」 講演者: シャボン玉石けん株式会社 代表取締役社長 森田 隼人 様

1. はじめに: 石けんの始まりは、約1万年前、人間が火を使うようになって、獣肉を焼いて食べるとき、獣肉からしたたり落ちる油と木の灰(アルカリ)が反応した土が、汚れを落とす土として発見されたものと言われています。天然素材だけを使った昔ながらの石けんは、川や海に流れ出ても簡単に分解されますし、人体への安全性が長年に渡り確認されています。一方、合成洗剤は、第一次世界大戦中、ドイツにおいて油脂が欠乏し、石けん製造ができなくなり、そこで開発されたものです。合成洗剤の日本での本格的な歴史は、約60年とまだ短いものです。

2. シャボン玉石けんの歴史・企業理念: 1910年に現福岡県北九州市若松区で日用品全般を扱う「森田範次郎商店」として創業して、今年で創業111年を迎えました。1960年代、洗濯機の普及に伴って合成洗剤の需要が飛躍的に高まりました。1964年、先代社長・森田光徳が当時の森田商店社長に就任しましたが、主力商品は、合成洗剤でした。1971年、国鉄(現JR)から無添加石けんの注文が舞い込み試作に取組みました。その結果、当時の日本工業規格(JIS)を上回る無添加石けんが誕生しました。先代社長が自宅で使うと、長年悩んでいた湿疹が数日で治まりました。これをきっかけに、1974年「体に悪いとわかった商品をお客様に提供するのはおかしい」と一大決心し、無添加石けんの製造、発売に切り替えましたが、売上はこれまでの約1%に激減し、半数以上の社員をも失い、結果的に17年間赤字を出し続けることになりました。1991年、「自然流『せっけん』読本」を執筆したところ、環境意識の高まりもあって、初めて黒字決算に転換出来ました。1999年に出版された本の中で「買ってよい」商品として紹介されたことや、音楽家で環境活動家の坂本龍一氏の舞台に協賛したことなどが契機となり、売上げが急拡大しました。2000年に入って、若松区南二島に新本社・工場増築すると共に、大手食品会社の偽装問題で消費者の安心・安全に対する意識の変化が追い風となって今日に至っています。

3. 洗浄剤について: 洗浄剤は、「石けん」と「合成洗剤」に大別されます。「石けん」は、牛脂・パーム油などの天然油脂、または脂肪酸から作られる天然の界面活性剤です。「合成洗剤」は、石油や天然油脂から化学合成で作られる界面活性剤です。最近、「無添加」表示が増えています、「合成洗剤」でも着色料を入れていないだけで「無添加」と表示したものまでありますので、注意が必要です。

弊社の無添加石けんは、酸化防止剤・着色料・香料・合成界面活性剤を使用していません。昔ながらの釜炊き製法・ケン化法で作ったシャボン玉石けんの無添加石けんには、油脂に含まれていた保湿成分が数%残っているため、洗いがりがしっとりして、ツツパリ感が少ないのが特徴です。

このようにして無添加石けんにこだわって続けて行こうとしている時、合成香料の匂いによって体調不良を起こす新しい公害である「香害(こうがい)」の問題で多くの人が苦しんでいることを知りました。「香害」は、化学物質過敏症の原因のひとつで、香料に寄る頭痛やめまいなどの健康被害のことを指します。化学物質への感受性は個人差が大きく、同じ環境にいても発症する人としない人がいます。だからこそ、周囲の理解と配慮が大切です。弊社は、化学物質過敏症患者へのあたたかい社会的理解と認識を広めるため、「香害・化学物質過敏症に対する啓発活動」をSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の取組みの一つとして行っています。

4. SDGsの取組み: 弊社は、1974年より、健康・環境問題にいち早く向き合い「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念のもと、人と環境にやさしい無添加石けんの製造・普及に努めています。国際連合が提唱するSDGsに賛同し、数々の取組みを行っています。

人と環境にやさしい無添加石けんの研究開発...
人と環境へのやさしさを第一に考えた商品開発をはじめ、原料調達段階から酸化防止剤などの添加物を含まないものを選んで本当の「無添加」にこだわっています。

パーム農園の定期的な現地視察... 原料油脂であるパーム油やパーム核油は、熱帯雨林の直接的な破壊を防ぐため、農園拡大の抑制に努めるマレーシアから取り寄せるだけでなく、品質の維持や環境保全の視点を持って、社員を定期的に現地のパーム農園・プラントの視察に派遣しています。

製造・販売面で石けん業界初「ISO14001」を取得... 1999年に環境マネジメントシステムとして認証され、産業廃棄物の削減など商品ライフサイクル全体で環境負荷を減らせるよう全従業員で継続的改善を進めています。

働きやすい環境づくり... 2019年には「女性大活躍推進宣言」を表明、女性監督者の比率20%以上を目指し、また、産休・育休からの職場復帰率は100%を維持、誰にとっても働きやすく、活躍しやすい職場づくりに努めています。

1% for Nature プロジェクト... 人気商品である『シャボン玉浴用3個入り』など5アイテムの売上の1%を「人と環境にやさしい活動」に寄付しています。事例のひとつとして、ミャンマーで取り組まれている「命の水事業」井戸建設の支援を行っています。

出張授業・工場見学... 小学校などにおける出張事業や勉強会などに無料講師派遣を行ったり、工場見学の受け入れを行ったり、石けんと合成洗剤の違いや健康・環境問題などについて啓発活動に取り組んでいます。

森林火災用石けん系泡消火剤の研究・開発... 石けん系泡消火剤は、2001年、環境にやさしい泡消火剤を開発したいという北九州市消防局からの依頼で北九州市立大学、シャボン玉石けんの産学官連携で研究・開発されたものです。(一般建物用)。その後、森林火災・泥炭火災に着目し、石けん系泡消火剤の技術を活かし、2013年、JICAプロジェクトとして、産官学で泥炭火災用泡消火剤の研究・開発を立ち上げました。インドネシアでの土壌・水質調査から開始し、2015年、泥炭火災用泡消火剤をインドネシアに出荷いたしました。森林火災は世界的な問題として注目を集めていることから、2019年、弊社の取組みが『環境省グッドライフアワード 環境大臣賞』を受賞しています。

感染症対策研究センターの取組み... 産学連携で、病原微生物と石けんの関係に関する基礎的研究のため「感染症対策研究センター」を2009年に設立しました。そこでは「高い」有効性だけでなく、一日に何回使っても手が荒れにくい、「人へのやさしさ」を追求しています。最近では、新型コロナウイルスへの有効性も確認されています。

北九州市との包括連携協定... 2019年にSDGsの達成に向けて包括連携協定を締結して、北九州市の魅力と一緒に発信しています。

弊社は、以上のほか自治体における石けんの推奨、私のSDGsコンテスト、産官学民での地域の感染症対策、食と健康に関する上映会、生態系保全活動、子ども食堂支援、商品の無償提供、若松北海岸や会社近隣の清掃ボランティアなどに取組んでいます。

(ご清聴ありがとうございました。)

北部九州・山口地域の企業紹介 地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します



【取扱製品】
鉄道用分岐器、継目板、
トンネル用H形支保工、
九鉄式フックボルト、タイプレート、
鉄道車輛部品、レール溶接工事、
各種照明器具



九州鉄道機器製造株式会社
〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号
<http://www.kyutetsu.com>

■賛助会員・協賛会員様の広報コーナー ＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞ NPO-KTS通信Vol.37 広告9-10

SC 有限会社 ICS SAKABE



プロフェッショナルを目指す若手エンジニアを応援しています！



〒802-0061
福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL: 093-932-7480 FAX: 093-932-7481
Email: info@icssakabe.com
URL: <http://www.icssakabe.com>

2021年度事業計画

■組織及び運営方針

◆**組織**:活動組織は、7支援グループ及びEA21地域事務局の体制とするが、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、コロナ禍で日々変動する社会情勢に併せて事業内容を見直し、活性化をこれまで以上に活発に進める。

◆**運営方針**:本年度は、既存受託事業(人材育成フォーラム・ビジネスマッチング・EA21事業等)の新たな事業への適応力を関係機関と連携して確立する。次に企業の置かれる困難な状況に国・県・市の施策と連携して地域企業への支援に力を入れ、産業の持続・維持を助け、新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の支援を進める。

本事業を支える人材の入会促進及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大いに活用した相互連絡会を開催し会員の力を結集する場や、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を整え積極的に推進する。

■実施計画

1. 技術経営ものづくり支援 Gr.

- (1) 技術支援活動
- (2) 対外的なKTS人材の技術情報整備とPR
- (3) 補助金等を活用した技術力向上への支援
- (4) 公的機関からの受託事業開拓

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
 - ① 研修型(短期)インターンシップ
 - ② 実践型(長期)インターンシップ
 - ③ 北九州高専長期インターンシップに関する事業
- (2) サポイン事業評価業務
- (3) 「SDGs勉強会」の開催

3. 環境・省エネ支援 Gr.

- (1) 販売支援活動
- (2) 環境技術に関心のあるKTS人材の育成と教育
- (3) 補助金等を活用した技術力向上への支援
- (4) 公的機関からの受託事業開拓

4. ISO・EA21 支援 Gr.

- (1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
- (2) EA21認証取得事業者数の拡大
- (3) ISO認証維持・新規取得支援
- (4) グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング)技術の向上
- (5) 「エコアクション21だより」の発刊

5. IT活用支援 Gr.

- (1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
- (2) 中小企業のIT活用支援
- (3) 「第4次産業革命」勉強会の開催
- (4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援
 - ① テレワーク環境整備に導入したITツールの展開
 - ② MS365BizのPower AutomateとPythonプログラミングによる業務自動化

6. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

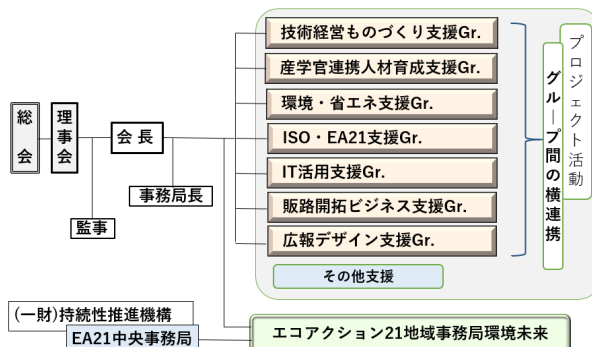
- (1) 西日本製造技術イノベーション2021展示会と中小企業テクノフェアin九州2021のビジネスマッチング(BM)支援事業
- (2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

7. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1) KTS通信の発行
- (2) KTS賛助会員・協賛会員の広報支援
- (3) KTS-PR媒体の更新
- (4) KTSホームページの更新
- (5) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
- (6) 会員への情報提供サービス
- (7) KTS創立20周年記念事業支援



NPO法人北九州テクノサポート組織体制



KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@np0-kts.org までどうぞ！

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

賛助会員・協賛会員様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.37 広告11-14

安全第一 品質優先

株式会社 新大倉

プラントエンジニアリング

1959年設立の経験値と、新技術への挑戦でソリューションします。

本社 北九州市小倉北区真鍋 2-5-16
TEL: 093-561-1434

東京支社 東京都品川区南大井 3丁目 8-12
TEL: 03-3766-2871

長崎支社 長崎県長崎市上野町 6番 24号
TEL: 095-844-8131

MAIL: project@shinohkura.co.jp

電気計装を中心に配管や機械設備まで、設計から施工、保全までお任せ下さい。

ヨシ!

北九州から全国へ
気象とものづくりで
企業の安全を支える

○気象の総合コンサルティング
○気象海象観測・予測情報提供
○気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号

システム株式会社
System & Meteorology

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町2-8-11
TEL: 093-965-1033 FAX: 093-965-1122
<http://www.sysmet.jp/>

自然災害防災システム

AA システム 提供

ZEROSAI

防災システム

防災システム

防災システム

ガラスレンズ金型 (超硬合金製)

次世代移動通信技術『5G』に使用されるレンズを製造するには弊社の『超精密加工技術』が必要です。1/1000mm以下

サブミクロシ形状精度

夢のあるものづくり

株式会社ワークス

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

Matsushima
Matsushima Measure Tech

「現場の見える化」を実現する

電波式レベル計 タストモニタ エアタストモニタ

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

お問合せはコチラ

[マツシマメジャテック](https://www.matsushima-mejatek.com/)

検索

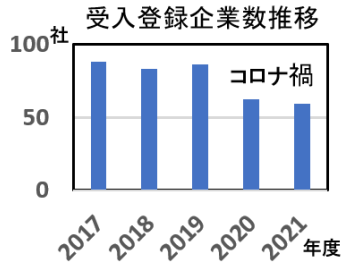
1. エコアクション21(EA21)導入セミナー開催 福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口市関係企業グリーン化プログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。
2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム開催 認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。
3. 認証・登録業務推進 登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催する。
4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催 認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催する。
5. エコアクション21審査員の力量向上研修会開催 九州・山口・広島地域のEA21審査員を対象に、Zoomにて「力量向上研修会」を開催する。
6. 10年継続認証・登録事業者に感謝状授与 10年間エコアクション21に取り組んでこられた事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与する。
7. 北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申 北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申する。

2021年度事業活動開始状況 (Hot News !!)

★2021年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

—— 北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働 ——

北九州地域産業人材育成フォーラムの地域連携型ISPは、2011年にスタートして11年目になるが、地域の理工系大学や工専の学生の地元企業就職率向上に大きな役割を果たしている。KTSは、3月下旬から候補企業約320社に対してコーディネーター12名で受入登録企業開拓を行っているが、図に示すように昨年度に引き続いてコロナ禍の影響を受けて6月初旬で59社に留まっている。



★展示会ビジネスマッチング(BM)活動

—— (公財)北九州観光コンベンション協会主催フェアでの協働 ——

昨年はコロナ禍でイノベーション展の中止やテクノフェアがオンライン開催となるなど変則的な事態となり、オンライン開催に不慣れな中で展示企業の紹介を行ったが、対応するコーディネーターも減り厳しい内容となった。

本年も緊急事態宣言がでているが、2021年展示会は、イノベーション展・テクノフェア同時開催で6月30日～7月2日の3日間、西日本総合展示場開催に向け準備を進めている。コーディネーターは15名が登録され、メンバーの若返りも進んでおり、経験のないメンバーも増え教育をしながら、様々な制約の中、何とか成功させたいとコーディネーター全員の力を合わせて進めている。新技術も多数展示されているので、活気のある展示会を演出したい。

本誌の発刊時は現地展示会自体は終了しているが、ご出展企業と川下企業様とのビジネスマッチングは継続的に実施して成果に結びつけていきたい。

◆第4次産業革命勉強会

KTS会員と協賛いただく方々の自己研鑽の場として、2016年から「第4次産業革命」勉強会を開催しているが、主題はIoTから始まりCPS(Cyber Physical System)、AI、クラウド、5G、DXと変化して来た。昨年度から未来IT図鑑シリーズの「これからのDX」をテキストに選びアフターコロナを勝ち抜くDX戦略について学んでいる。今年度は、7月から隔月のTeamsによるオンライン開催を計画しているが、日時はNPO-KTSのホームページでお知らせする。

◆SDGs勉強会

この勉強会は、北九州市が国からSDGs未来都市に選ばれたことを受けて2019年から始めた。昨年度後半に「SDGs経営」をテキストに選びSDGsを経営に活用する手法を学んだ。今年度は、6月の定例総会後の特別講演におけるシャボン玉石けん株式会社の事例を始めとして、同じテキストで紹介されている事例から社会に必要とされる事業とは何かを学習する計画で、次回の8月から隔月のTeamsによるオンライン開催を計画している。

新任理事紹介



あらいだしゅんいち
荒巻 忠史

苅田町のOBです。上下水道局及び産業振興担当課に長く勤務していました。KTSの事業に資するべく、これまで培ったネットワークを最大限に活用したいと考えております。



せきけんぢろう
関屋 健三

山口県におけるエコアクション21草創に参画。毎年発行している廃棄物処理業者向け法律解説書・改訂版編集に従事。先行き不透明な現代、KTSの一員として事業者様の発展に少しでも貢献したい。



まさき ひでなお
正木 秀尚

旧住友金属・SUMCOのシステム部門を経験し、昨年入会しました。最新IT技術の導入により、組織内の業務効率化及び情報発信力強化を図って行きたいと考えています。

北部九州・山口地域の企業紹介 地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員様の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS通信Vol.37 広告15-18

ステンレス・アルミニウム・チタン
金属研磨で“価値”を与える会社

東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.
〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

ドナルド・ドナルド専用車両

特徴1 安全・迅速
特徴2 3D同時計測
特徴3 高精度
特徴4 直感的!!

30倍ズームカメラ
赤外線熱画像撮影
(サーモカメラ)

計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

環境づくりに心をこめて
株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の循環システムの推進
◆社会貢献

事業品目
造園工事・環境事業・きのこファーム

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL http://www.morizou.info/

ベストプランを
ご提案します!

三栄機工株式会社
福岡県知事許可(般-21)第99106
http://www.sanei-kikou.com/

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー

設計・施工・修理・メンテ

一般小荷物搬送設備

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

株式会社 有蘭製作所

令和3年6月15日に本社工場を訪問し、医療・福祉機器に関するお話を聞きながら工場見学をさせて頂きました。コロナ禍の中での見学となり、ご迷惑をおかけ致しました。(重藤監事)

■会社の沿革と業績

1910年に旧八幡市春の町に義肢装具製作所として創業し、1965年より海外メーカーの代理店として義肢装具材料の輸入業務を開始しました。事業拡大に伴い2002年八幡東区東田に本社を移転しました。2021年には福岡市内のユーザーへのサービス強化のため、福岡営業所を新築移転しました。



有蘭社長

創業時は義肢の製作・修理からスタートしましたが、現在は障害者・高齢者を対象に義肢・装具・車いす・歩行器・姿勢保持装置・リハビリ用機器等、医療・福祉・健康分野へ事業の裾野を広げています。また、2005年にISO13485を取得し、信頼のおける製品づくりと顧客目線でのより良いサービスの提供に努めています。

近年では、製造部門にNC旋盤、三次元CAD/CAMシステム、3Dプリンター等を導入し、生産技術の高度化を図り、開発部門では、リパースエンジニアリングやビットタイピングシステムなど先進の技術を駆使し、個別対応のものづくりに取り組んでいます。また属人化していた営業形態からデジタルツールを活用した営業技術の標準化を図り、サービスの質の向上に取り組んでいます。



NC旋盤

■今後の展開と課題

これからの100年も「総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニー」として、迅速で丁寧な製品開発に取り組んで参ります。また、国内外の最新技術動向を取り入れ、少子高齢化社会と障害を持つ人に対して、長年蓄積した個別適合のノウハウと医療現場での臨床フィールドを生かし、材料から製品の規格化、アシストロボットの開発に至るまで、人に優しいものづくりに取り組んでいきます。

■KTSへの期待

今後ともDX化など色々な面で是非ご協力を戴きたいと思っております。



福岡営業所



手指義手のサンプル

◇会社概要

- 所在地: 北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL:093-661-1010
- 代表者: 代表取締役社長 有蘭 央 ■設立:1935年12月
- 資本金: 4,000万円 ■従業員数:170名
- 事業: 義肢・装具・福祉機器・リハビリ機器(車いす・座位保持装置・歩行器)介護用品/医療機器/研究・開発など医療機関と連携して、一人ひとりの身体に合った義肢・装具・福祉機器の製作と全国の制作事業者に義肢・装具材料や開発商品を提供しています。

URL: <http://www.arizono.co.jp/>

九州鉄道機器製造株式会社

鉄道関連事業等の老舗で、昨年末にご入会された同社の大野社長様・総務部南雲主任様にお話を伺った。なお、時節柄、取材はKTSとして初のオンライン取材となった。(坂田理事・林理事)

■会社の沿革と業績

同社は大正10(1921)年に大野慶太郎商店として創業して鉄道分岐部品の販売をはじめた。昭和20(1945)年に九州鉄道機器製造株式会社を設立、昭和35年(1960)年に八幡製鉄(株)(現在日本製鉄株式会社)の指定工場としてH形支保工の製作を開始、続いて、トビー工業(株)の委託業務、さらにはレール肉盛溶射工事、レール溶接工事の開始など、一貫して鉄道関連事業に携わってきた。その間、国鉄民営化の影響も受けたが、安全で高品質な製品をお届けする企業風土を培いながら、生活インフラとして地域社会の発展への貢献を誇りとして歴史を刻み、創業100周年を迎えた。また、トンネル用支保工の製作、道路照明灯、セラ水(次亜塩素酸水)など事業を拡大している。昨今では[KYUTEKKI]ブランドを立ち上げ、レールを使用して作ったレールブックエンドの販売を始めている。



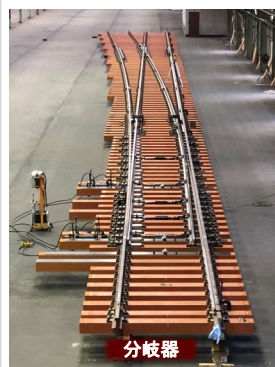
大野社長



ブックエンド

■今後の展開と課題

「安全安心な製品づくりを通して持続的に社会に貢献し、社員一人ひとりが主体的に活躍できる会社の実現」を経営理念とし、人の命に係わる製品を取り扱っている事業での信頼の確保を至上としている。鉄道事業部では各種分岐器、伸縮継目、中継レールや継目板などがあるが、なかでも圧延材での継目板製作はわが社のオンリーワン技術で、北海道から九州まで全国で使用されている。今後は、長尺製品切削等、保有する高度な加工技術の横展開も図っていききたい。取り扱う製品の性質上、絶対的な安全・高品質が求められる、災害復旧・緊急対応にも迅速に応じるため産業用ロボットや大型機械設備導入での省人化、自動化を進めながら技術の継承を目指している。又、生産性の向上、コストダウンやリードタイム短縮を課題としてDX化(生産管理の一貫化)を進めている。



分岐器

■KTSへの期待

KTSとは工場の補修工事関連でのつながりからの付き合いであるが、今後、人材育成の情報・産学官連携の人材育成、地元企業との情報交換の機会、専門技術の相談、各種補助金申請等での支援をお願いしたい。



本社・工場

◇会社概要

- 所在地: 北九州市門司区下二十町2-30 TEL:093-381-1731
- 代表者: 代表取締役社長 大野 浩司 ■設立:1921年8月
- 資本金: 5,000万円 ■従業員数:47名
- 事業: 鉄道用分岐器・レール用継目板、鉄道用部品の製造、トンネル支保工製造、道路照明灯販売など

URL: <http://www.kyutetsu.com/>

正会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費等で運営されております)

◇企業の第一線をリタイアされた皆様、お持ちの知識・技術・経験・人脈を生かして第二の人生を地域社会への伝承、更なる発展のために貢献・恩返ししてみませんか?

◇福岡、山口の企業様、当NPO法人との協働で経営・技術の課題解決など、よりよい成果を目指してみませんか?もちろん、会員加入は必須ではありません。(^^)

編集後記



巻頭写真は北九州市若松区エコタウン北海岸の響灘風力発電所です。脱炭素社会に向けてのグリーンエネルギー化は市を挙げてのSDGs推進の喫緊課題のひとつです。さて、年2回定期発行のテクノサポート通信も37号となり、今回は通常総会特集号ですが、SDGsをテーマとした特別講演を頂き、掲載しましたのでご覧下さい。冊子での発行(2,000部)のお届け並びにPDF版のe-メール配信ですが、今回号を含めバックナンバーは全てホームページに掲載していますので併せてご覧下さい。ご広告掲載でのPRを含め、産学官民のご関係の皆様方、会員の皆様方に喜んで頂ける広報誌を目指して、編集委員はもとより、新規入会を含む会員各位にも広くご参加を仰ぎながら誌面の充実化を図って参りますので、今後共、お引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。(編集部)

会員・賛助会員の会費

- ・正会員 入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人) 入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
- (個人) 入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口



北九州テクノサポート 検索

<http://www.npo-kts.org/>

会員登録は随時受け付けています

ホームページから申込用紙をダウンロードできます

NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.37」

2021年7月15日 発行

編集・発行:NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクセンタービル 806号

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org